

記載例

【浦安市】サービス等利用計画案(セルフプラン)

氏 名	〇〇 〇〇	計画作成日	令和4年6月20日		
生年月日	平成7年5月5日(27歳)	連絡先	080-▲◎〇×-◇◇〇〇		
住 所	浦安市堀江9-9-9-101				
計画作成者	〇〇 〇〇(続柄 本人)	計画作成補助者	△△センター(続柄 相談支援事業所)		
手帳などの状況(あてはまるものに○)		家族の状況(本人以外を記載)			
	身体障害者手帳(等級 級)	氏 名	続柄	年齢	同・別居
	療育手帳(程度)	〇〇 〇〇	父	75	同・別
○	精神障害者保健福祉手帳(等級 3 級)	〇〇 〇〇	兄	33	同・別
○	自立支援医療(精神通院)				同・別
	特定医療費(指定難病)受給者証				同・別
	診断あり(診断名)				同・別
○	障害支援区分(1・2・3・4・5・6)	備考:実家は埼玉県で、父と兄と一緒に暮らしている。母は死去。			
○	その他: 生活保護受給中				
医療の状況					
疾患名	うつ病		過去の受診歴・現在の健康状態		
医療機関	〇〇メンタルクリニック		〇〇メンタルクリニック初診。以後継続して通院している。		
主治医	◆◆先生		現在状態としては安定しているが、やる気は起きず、夜は睡眠導入剤なしには眠れない状況は変わらない。		
通院頻度	月1回				
服薬状況	□□錠 1回/日 タ食後 〇〇〇〇 1回/日 就寝時 ▲▲▲錠 2回/日 朝食後・就寝時				
生活歴			利用サービス・関係機関の状況		
埼玉県出身。兄が1名。 地元の県立高校卒業後、都内の専門学校(情報系)に進学。一人暮らし開始。専門学校卒業後、システムエンジニアとして務めるも、3年経過した頃に激務から体調を崩しうつ病と診断される。その後退職となる。就職への足掛かりとして、〇〇センター(地活)に時々顔をだしている。			・〇〇メンタルクリニック ・〇〇センター(地活) ・生活保護受給(担当:□□ケースワーカー)		

希望する生活と目標・サービス

こうありたいと思う暮らし		体調に無理のない範囲で、再就職を目指したい。			
困っていること		朝が弱いので、遅刻せずに事業所に通えるか不安。			
サービスの種類 (希望するものに○)		支給量		障害福祉サービス等を利用して 実現したいこと	
訪問系	居宅 身体介護	月	時間・1回	時間	
	居宅 家事援助	月	時間・1回	時間	
	重度訪問介護	月	時間		
自立生活の援助	自立生活援助	当該月の日数			
	就労定着支援	当該月の日数			
	地域(移行・定着)支援	当該月の日数			
日中活動系	生活介護	週	日		徐々に日数を増やしていき、再就職につながるよう、体力・気力を回復させたい。
	○ 就労継続支援(A型・B型)	週	5日		
	就労移行支援	週	日		
	就労選択支援	週	日		
	自立訓練(機能・生活)	週	日		
居住系	短期入所	月	日		
	共同生活援助(グループホーム)	当該月の日数			
	宿泊型自立訓練	当該月の日数			
	施設入所支援	当該月の日数			
	療養介護	当該月の日数			
外出の支援	同行援護	月	時間		
	行動援護	月	時間		
	通院等介助	月	時間・1回	時間	
その他					

週間ケア計画(簡潔に記載してください)

	月	火	水	木	金	土	日	サービス提供事業所名
午前	● 9:00 起床					ゆつくり家で過ごすか、買い出しに出かける。		★○○B型事業所 週3日から5日に徐々に増やす
	↑ 10:00～ 15:00							
午後	★ B型							時々、○○センターに顔をだす
	↓ 0:00 就寝							